

個人山行報告

奥穂西穂縦走

メンバー：酒井 L、畑澤

日程：

8/4（木）20:00 津田沼発 00:20 道の駅風穴の里

8/5（金）05:40 沢渡バスターミナル 06:10 上高地 涸沢から

14:20 奥穂山荘（素泊）

8/6（土）04:30 奥穂山荘 奥穂～ジャンダルム～天狗の頭～間の岳～西穂

14:20 西穂山荘（素泊）

昨年10月に霜のため奥穂から引き返した奥穂・西穂縦走に再挑戦。曇り時々霧か雨か雷雨と分からない予報だったが、実際は晴れ。ほぼ無風。薄明るくなってから奥穂山荘発。奥穂から直ぐ、高度感のある馬の背ナイフリッジ。慎重に後ろ向きで下る。大きなホールド・スタンスあり。確実な三点確保が不可欠。ジャンダルムは基部を左に巻き、西穂側から登れば鎖もあり楽。天狗のコルから間の岳は、急な岩場があるが、鎖も多い。所々に浮岩あり。しっかりした大岩と思ったら、隙間岩が浮いているところもあり、油断できない。白○ペンキ印通りに行くも、上ばかり見てい

ると、下にルートがあつたりで要注意。もし視界が悪ければ、間違え易い個所あり。強い日差しの中、延々と岩場を歩き、西穂山荘着。夕方、遠くより雷音。縦走中でなくてよかった。大昔、松本深志高校生徒数人が西穂で雷で亡くなっています。

8/7（日）05:15 西穂山荘

07:25 上高地 沢渡駐車場迄バス
長野道から渋滞なしで

14:20 津田沼

霧は晴れ岩山越しに日は昇る
酒井そうた



奥穂～西穂縦走は私の大いなるチャレンジでもあり、また、憧れでもありました。昨年10月初旬に、一度挑戦しましたが、すでに岩場には霜が一面に張り付いていたため奥穂頂上まででギブアップした経緯があります。

今回はそのリベンジ。幸い、天気も良く順調に奥穂頂上に到着。それから先が

いよいよ、未知の世界、馬の背ナイフリッジ、ジャンダルムと続く難関中の難関コースを縦走。谷底は 1,000 メートル以上とも思われる痩せた岩場の登山道を歩くことになるので、何と言ってもスリル満点です。また、一番の難関と言われるジャンダルムは、最難関ルートにはX印がついているので登攀出来ませんが、左から巻いた方向からだと比較的登りやすく、登り終えた後は、その達成感と頂上から眺める 360 度のパノラマは大感動モノです。それは、どんな絵や写真にも優ります。

このルートは流石に日本最大難関と言われるだけあって、最初から最後まで気が抜けず緊張の連続を強いられました。また、はがれ易い岩や浮き岩が随所にあると相当の注意が必要でしたが、三点確保をしっかりとって進めば何とか克服出来るとの印象を持ちました。行き交う登山者とはお互い励ましあい、また、酒井さんからは貴重なアドバイスを頂きながら、何とか完走（完歩？）することができ、とても有意義な山行を経験することが出来ました。全てに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

畑澤

